

おおづしえんがっこう
大津支援学校
おおづまち こうつうあんぜん
「大津町の交通安全について」
さかい くう いしづか な お
酒井 拍羽議員 • **石坂 凪央議員**

質問

酒井議員

まずは、大津町の皆様、安全に登下校するために道路に歩道の設置や、縁石の設置、横断歩道の設置などしてくださりありがとうございます。

私たち大津支援学校の生徒は、保護者の送迎や通学バスなどで登校したり、電車やバス、自転車などを利用して自力で登校したりしています。今回の質問案では、自力で通学している生徒から3つの意見があがりました。

1つ目は、見通しのよくない道路にカーブミラーを設置してほしいということです。通学途中にある翔陽高校とブリジストンの間の道の視界が悪く、危ないと意見が出ており、雨の日など視界が悪い日でも運転手の方に私たちが横断歩道を渡っていることが確認できるようにしていただきたいです。

2つ目は、道路の水たまりをなくしてほしいです。雨が降ると翔陽高校前に水たまりができ、通学している生徒が車に水をかけられる経験をしているとの声が上がっています。水たまりはくぼみに水が溜まってできるものです。道路にくぼみがあると、水たまりができるだけでなく、車も安全に走行することが難しくなると思います。道路のくぼみを減らし、安全で安心な道を通りたいです。

3つ目は、安全に通学するために自転車専用道路を作っていただきたいです。私たちは徒歩でも列を作って登下校するように意識しています。ですが、肥後大津駅から大津支援学校にかけての道は自転車を利用する方多く、またTSMCの関係でしょうか。車の通行も多い現状にあります。歩道を通る小学生や中学生、高校生など、これらの未来を担う若者が、万が一の事故に遭うことをなくすために、ぜひ自転車専用道路を作っていただきたいです。

以上のことを踏まえて、大津町では交通安全について現在どのように考え、進められようとしているのかについて町長に質問いたします。

答弁

金田町長 質問にお答えします。

はじめに、1つ目の「見通しのよくない道路にカーブミラーを設置してほしい」ということについて、歩行者の確認と安全確保は非常に重要なことであり、特に雨天時にはドライバーが歩行者を認識しづらくなるため事故のリスクが高まることが予想されます。そこで、3年ほど前に町内のカーブミラーの必要な箇所を調査し、集中的に整備しました。しかしながら、近年では町の開発が加速し、交通量も増加しているため、当時は設置を見送った、あるいは要望がなかったものの、現在は必要性が増している地点もあるのではないかと考えています。現在大津町では、カーブミラーを新規で取り付けを希望される場合、行政区の区長さんから町へ要望書を提出していただき、大津地区交通安全協会大津支部という組織の役員の方々に現地調査のうえ、設置が必要か否かを判断していただいたうえで設置を行っています。

今回、議員からご指摘のあった場所につきましては、地元区長さんや大津地区交通安全協会大津支部の役員さんとも情報共有し、歩行者の安全確保に努めています。また、カーブミラーの設置と併せて、横断歩道をカラー化することで視認性を向上させる方法もありますので、より安全を確保できるよう検討します。

2つ目の質問ですが、雨が降ると翔陽高校前の道路のわだちにできた水たまりで、車から水をかけられることがあることから、道路のわだちを減らし、安全で安心な道路整備を行なうべきではないかとのお尋ねでした。現在、大津町で管理している町道は、道路延長の合計が約260kmあります。260kmの距離とは、大津町からおおよそ広島県まで行ける距離で、そのくらいの長さの道路を管理していることになります。道路の管理については、舗装の一部が損傷し、穴ぼこ等が出来ているような場合は、パトロールによる発見や住民からの通報等により、早急に補修などの対応を行っています。その他の工事する必要があるような大規模なものについては、地元からの要望書を受け、舗装の状況や通行量など交通への影響も考え、町全体の道路整備の中で優先順位をつけ、舗装の補修等を行い、車や歩行者が安全・安心に通れるように日々管理を行っています。

ご質問がありました 翔陽高校前の道路は、町道三吉原北出口線という路線で、大津町が管理している道路になります。先ほども少しお話しましたが、TSMCの進出以降、関連企業の進出やマンションや住宅の建設が進み、以前にも増して車両の通行が多くなり、車両が多く通行する箇所には、わだちなどが出てきたり、朝夕の渋滞も多く見られます。そのため、町としましては 翔陽高校北側道路の三吉原北出口線、具体的には国道325号から楽善交差点までの区間を現在の2車線から車線数を増やし道路を広げる計画をしています。その中で、道路のわだちなども解消し、安全で安心な道路整備を行いたいと考えています。

3つ目の質問ですが、安全に通学するために自転車専用道路を作ってもらいたいとのお尋ねでした。自転車に関する取組みとしては、熊本県は令和2年3月に、皆でつくる“くまもと自転車文化の創造”を目標とする「熊本県自転車活用推進計画」を策定しました。それに基づいて大津町、菊陽町、菊池市、合志市、山鹿市の5市町で「菊池・

山鹿地域自転車ネットワーク計画」を策定し、自転車を利用した広域観光の推進や健康増進、通勤・通学路の安全確保等の取組みを推進することを目的に取り組んでいます。

大津町の中でのこれまでの取組みは、熊本県により一部の県道に青色で矢印標記のような矢羽根型の路面標示を設置することにより、自転車が通行する道路であることを示してドライバーの注意を促すような整備が行われています。議員からの質問にあります肥後大津駅から大津支援学校までの道もTSMCの工場が出来てから、車の通行が多くなっており、また、支援学校前の町道は自転車も歩道を通行できる歩道のため、通学時などは特に注意して通行してもらう必要があります。また、楽善交差点から肥後大津駅までは下り坂のため自転車のスピードが出て危険であるとの声も聞いています。

それを踏まえ、大津町としましても、国道325号から楽善交差点の区間につきましては、道路を広げる計画の中で、歩道の幅を広く確保して、自転車専用道路や路面標示による自転車専用通行帯等の整備、また、楽善交差点から肥後大津駅までの区間につきましては、自転車が通ることがわかる路面表示等により通行の注意を促すなど、歩行者と自転車の両方が安全・安心に通行できるよう、現地を調査し、熊本県・警察等の関係機関と協議し検討していきます。

感想

石坂議員

私たちの質問に対して、丁寧にご回答いただきありがとうございました。

町長の答弁の中で、カーブミラーを設置するにあたって区長さんに要望書を提出

し、交通安全協会の役員の方が現地確認をして必要となればようやく設置できること

を初めて知ることができました。また、横断歩道をカラー化して、視認性を向上させる

ことができるとの案を聞いて、歩行者の安全について考えられているのだと感じまし

た。私たちも登下校の際には、改めて気を付けたいと思います。雨天時の道路のわだ

ちによる問題への対応や、翔陽高校前の道路拡幅計画や、自転車専用道路の整備計画は

通学者によっても大きな安心材料になると思います。

このような取り組みが進むことで、私たちももっと安全に通学ができるようになると

感じました。これからも地域全体でよい町づくりができるよう、私たちも交通ルールを

守り、協力したいと思います。

本日はありがとうございました。